

岩手大学 正会員 岩佐 正章
 岩手大学 学生会員 ○坂井 茂
 岩手大学 学生会員 高田 康夫

1. はじめに

わが国の都市にはその発生が城下町であったものが多い。現在の県庁所在地の約70%が旧城下町である。そしてその城址は一部または大部分が公園となつていものが多い。例えば、主な城址公園は表-1に示すようである。これらの公園は、わが国の児童公園の標準面積0.25ha、近隣公園の標準面積2~5ha、総合公園のそれが10~50haであることから、面積的に総合公園に匹敵し、その都市のレクリエーション的存在となつていものが多い。本研究は中都市としては47.87haとすわめ、広大な面積を有する弘前公園(鷹揚公園)について、弘前市民がこの公園をどのように評価しているかと環境属性と利用性の面から調査したものである。

2. 調査対象者および方法

調査対象者は居住地、勤務先、年齢、性別などによって、共通した性格をもつと考えられる12の層に分け、人数は層によって30~94人とし、弘前公園に対する評価をSD法を用いて測定した。SD法に用いる評定尺度のカテゴリ数は7とし、この分布から系列カテゴリ法によって、カテゴリ代表値を求めた。調査法はアレキサンダーの調査法により、調査年月は昭和50年12月である。調査項目は表-2、結果は表-3のとおりである。

表-1 わが国の主な城址公園

名称	公園名	面積(ha)	開設年月日	名称	公園名	面積(ha)	開設年月日
弘前	鷹揚	47.87	明治28年5月20日	虎根	金尾	27.80	昭和19年3月2日
盛岡	若手	7.92	明治39年9月15日	大坂	大阪城	102.32	昭和6年
仙台	青葉山	40.67	昭和31年1月11日	姫路	姫路	25.00	昭和33年3月31日
秋田	千秋	18.09	明治28年11月22日	和歌山	和歌山	20.45	明治34年4月
山形	霞城	11.31	昭和23年3月31日	松江	城山	19.60	昭和32年3月1日
金沢	鶴ヶ城	18.67	明治元年4月27日	岡山	鳥城	5.70	昭和23年5月15日
水戸	弘道館	3.09	昭和32年6月6日	広島	中央	9.45	昭和26年4月1日
宇都宮	御本丸	0.66	昭和34年4月1日	萩	指月	26.35	明治29年4月1日
前橋	前橋	19.09	明治38年	徳島	徳島	13.90	明治39年1月9日
小田原	城址	10.97	昭和33年4月1日	高松	玉藻	7.90	-----
甲府	尾鶴	5.20	明治37年	松山	城山	42.92	明治75年2月18日
富山	城址	6.56	昭和27年4月1日	宇和島	城山	12.11	昭和41年3月31日
金沢	外濠	4.11	昭和23年5月1日	高知	高知	10.50	明治6年11月
松本	中央	10.50	昭和29年5月4日	福岡	無鶴	25.72	昭和23年10月1日
岐阜	岐阜	20.14	明治15年9月13日	〃	大濠	39.83	昭和4年3月
静岡	駿府	18.09	昭和23年3月31日	佐賀	城内	21.30	昭和36年12月1日
石川	名武	63.28	昭和34年4月1日	熊本	熊本城	21.11	昭和24年4月1日
津	中央	3.30	昭和43年4月1日	大分	大分城址	3.87	-----
大津	膳所城址	2.97	昭和27年10月1日	鹿児島	城山	15.64	昭和37年

表 — 2 評 定 尺 度

番号	環 境 属 性	番号	利 用 性
1	石垣の感じがよい	10	行きにくい
2	漆(地)の感じがよい	11	散歩しにくい
3	芝生の感じがよい	12	休息しにくい
4	樹木の感じがよい	13	運動しにくい
5	あすまやの感じがよい	14	子ども安心して遊べる
6	天守閣の感じがよい	15	集会に利用しやすい
7	やぐら(う)の感じがよい	16	遠くを眺めやすい
8	門の感じがよい	17	植物の観賞がしやすい
9	遊具の感じがよい		

表 — 3 カ テ ィ ー 代 表 値

評 定 尺 度 番 号	市 役 所		近 隣 A		近 隣 B		郊 外		大 学		高 校	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1	0.967	0.933	0.910	0.651	0.847	0.688	1.068	0.857	0.366	0.601	0.643	0.711
2	0.530	0.546	0.494	0.443	0.521	0.489	0.660	0.390	0.077	0.326	0.270	0.389
3	0.260	0.391	0.448	0.491	0.175	0.535	0.363	0.238	-0.020	0.333	0.261	0.375
4	1.044	1.103	0.930	0.827	0.976	1.003	0.988	0.874	0.562	0.658	0.931	0.968
5	0.163	0.275	0.374	0.314	-0.020	0.449	0.093	0.225	-0.137	-0.035	0.012	0.030
6	0.630	0.639	0.743	0.652	0.773	0.969	0.567	0.909	-0.281	0.104	0.313	0.485
7	0.759	0.776	0.721	0.636	0.752	0.637	0.803	0.548	-0.012	0.386	0.241	0.395
8	1.103	1.110	0.897	0.678	0.905	0.863	1.276	0.810	0.443	0.819	0.650	0.771
9	-0.382	-0.407	-0.124	-0.215	-0.432	-0.133	-0.322	-0.262	-0.432	-0.237	-0.325	-0.371
10	1.034	0.914	0.732	0.801	0.942	0.946	0.701	0.548	0.402	0.287	0.913	0.803
11	1.081	1.099	0.892	0.842	0.856	1.038	0.990	0.751	0.705	0.614	0.923	0.943
12	0.683	0.673	0.720	0.847	0.740	0.895	0.628	0.703	0.405	0.377	0.721	0.578
13	0.624	0.643	0.595	0.891	0.685	0.773	0.644	0.765	0.094	0.246	0.627	0.460
14	0.708	0.729	0.760	0.673	0.641	0.766	0.581	0.707	0.360	0.650	0.327	0.466
15	0.368	0.429	0.245	0.431	0.403	0.442	0.081	0.433	-0.165	0.105	0.267	0.253
16	0.632	0.694	0.385	0.717	0.513	0.684	0.688	0.628	0.624	0.659	0.340	0.793
17	0.549	0.390	0.469	0.713	0.453	0.535	0.474	0.519	0.260	0.479	0.243	0.357

3. 考察および結論

弘前公園においては、樹木に対する評価がきわめて高く、129層の全部において3位以内に入っている。ついで門に対する評価が高く、郊外女性を除いて他911の層で全部3位以内に入っている。また石垣は379の層を除いて3位以内に入っている。一般に城址のシンボルと考えられる天守閣が弘前では比較的评价が高くなく、中位である。門、石垣、天守閣などの遺構、樹木などの自然物の評価が高いのに対して、遊具(パラレス、すべり台)、あすまやなどの工作物は城址の環境を構成する要素としての評価が低い。

つぎに利用の面を見ると、行きにくい—行きやすいという項目では、郊外女性と大学男女の評価がやや低い。これは距離の自覚から当然であろう。各層一致して高いのは散歩しやすいという項である。子どもの安心して遊べるという項も比較的高く評価されている。一般に評価の低いのは、集会に利用しやすいという項である。

環境属性と利用性とよめた因子分析の結果は大部分が第I因子に入り、第I因子の寄与率62.1(%)である。遊具の感じと植物観賞のしやすさは第II因子に入り、また遠くを眺めやすいが第IV因子に入っている。これらの3項目は他と異なる特殊なものとされている。